

おまけ

※課題の答え（1枚目）と

今日やったことを覚えてたい人向け

課題 意味や品詞、どう見分ける？

①次の「れる・られる」の意味を書きなさい。

ア 校長先生が来られる。 イ 友達に注意される。

ウ 彼の将来が案じられる。 エ 外へ出られない。

②次の「ない」と同じ意味・用法のものと同じものを選びなさい。

ずっと変わら**ない**ものがある。

ア 消しゴムが**ない**。 イ せつ**ない**思い出の消しゴム。

ウ 消しゴムは使わ**ない**。 エ この消しゴムはよく**ない**。

まとめ

(直接打ち込む)

① ア 尊敬 イ 受身 ウ 自発 エ 可能

② ウ

課題 意味や品詞、どう見分ける？

①次の「れる・られる」の意味を書きなさい。

- ア 校長先生が来られる。      イ 友達に注意される。  
ウ 彼の将来が案じられる。      エ 外へ出られない。

まとめ (直接打ち込む)

① ア 尊敬    イ 受身    ウ 自発    エ 可能

解説 ア 主語が「校長先生」 ← 偉そう

イ 「友達」に注意をされる ← 誰かに何かをされる

ウ 彼の将来が自然と案じられる ← 「自然と(に)」を  
入れることができる

エ 外へ出ることができない ← 「～(することが)できない」  
を代入することができる

課題 意味や品詞、どう見分ける？

②次の「ない」と同じ意味・用法のものと同じものを選びなさい。

ずっと変わらないものがある。

ア 消しゴムがない。 イ せつない思い出の消しゴム。

ウ 消しゴムは使わない。 エ この消しゴムはよくない。

まとめ

(直接打ち込む)

② ウ

解説 「ぬ」が入れられるかどうか考える。

ずっと変わらぬものがある。 ○助動詞

ア 消しゴムがぬ。 ×形容詞

イ せつぬ思い出の消しゴム。 ×形容詞

ウ 消しゴムは使わぬ。 ○助動詞

エ この消しゴムはよくぬ。 ×形容詞

よって、ウになる。

まず復習！ 意味・品詞を「見分ける」大原則

- ①上を見る（「れる・られる」②尊敬　などで）
- ②下を見る（活用形　などで）
- ③代入する（「れる・られる」③可能　などで）

まず復習！ 意味・品詞を「見分ける」大原則

- ①●を見る（「れる・られる」②尊敬　などで）
- ②■を見る（活用形　などで）
- ③▲▲する（「れる・られる」③可能　などで）

## 「れる・られる」の見分け方（意味）

①受身 すぐ分かる（「誰か」に何かをされる）

例 母に起こされる。

②尊敬 （入試においては）主語が偉そう

例 社長が話される。

③可能 「～（することが）できる」 代入可

例 いつかは変われる。

④自発 残ったものがこれ 「自然と（に）」が入れば自発

例 あの頃が思い出される。

※ ①受身②尊敬③可能④自発 の順で考える。

①受身かどうかを考え、違っていたら②尊敬かどうかを考えていく。

## 「れる・られる」の見分け方（意味）

- ①●●● すぐ分かる（「誰か」に何かをされる）  
例 母に起こされる。
- ②▲▲▲ （入試においては）主語が偉そう  
例 社長が話される。
- ③■■■ 「～（することが）できる」代入可  
例 いつかは変われる。
- ④××× 残ったものがこれ 「自然と（に）」が入れば××  
例 あの頃が思い出される。

※ ①●●●②▲▲▲③■■■④××× の順で考える。  
①●●●かどうかを考え、違っていたら②▲▲▲かどうかを考えていく。



## 「ない」の見分け方（品詞）

「ない」が ①「ぬ」に置き換えられる○ **助動詞**

例 わから**ない** → ○わから**ぬ**

（「ない」は助動詞）

②「ぬ」に置き換えられる× **形容詞**

例 地図も**ない** → ×地図も**ぬ**

（「ない」は形容詞）

## 「ない」の見分け方（品詞）

「ない」が ①「ぬ」に置き換えられる○ ●●●

例 わからない → ○わからぬ

（「ない」は●●●）

②「ぬ」に置き換えられない× ▲▲▲

例 地図もない → ×地図もぬ

（「ない」は▲▲▲）